

宮崎神宮

養正

ようせい

一正



ようせい
「養正」とは

神武天皇が第一代の天皇に即位される際のご聖勅「上ハ
すなは 神武天皇が第一代の天皇に即位される際のご聖勅「上ハ
すなは 則チ乾靈ノ國ヲ授ケタマヒシ徳ニ答へ、下ハ則チ皇孫ノ正ヲ
やしな 養ヒタマヒシ心ヲ弘メム」からいただいた由緒ある名称です。

新年のごあいさつ

宮崎神宮宮司 本 部 雅 裕

新年明けましておめでたうございます。

令和四年の年の始めにあたり、竹の園生の弥々のお栄えを心からお祈り申し上げます。

また、氏子の皆さまを始め、宮崎神宮にお心をお寄せくださいます全国の崇敬者の方々にとりまして、本年も良い年でありますやう念じあげます。

さて、全国で猛威をふるひ続けておりますコロナ感染症の蔓延が始まって以来、まもなく二年を経過しようとしてをりますが、皆さまにはお大事なきことと存じます。

その影響で昨年の例祭を始め恒例の祭典は、皆さまに広くご案内ができません、申し訳なく存じてゐます。

その中でも、宮崎の秋を彩る御神幸祭「神武さま」は、昨年につき二年連続中止せざるを得ませんでした。私が宮司に就任した令和元年までは、例年通りの行列が宮崎市橋通に繰り出し、皆さま多くの方々にご覧をいただいたところでございました。

実はその時、私は初めて馬に乗り御鳳輦のお供をさせていただきました。それまで馬にさわったこともありませんでしたから、いつも馬を提供いただく清武町のカウボーイアップランチの後藤社長にお願いし、事前に乗馬の練習を三度ほどしました。それでどうにか乗れるやうにはなりました。それもマサル君といふおとなしく、また行列に慣れた馬を手配していただいたおかげでした。

今年の秋こそコロナが収まり、「神武さま」の行列も賑々しくそして盛大に、全てがウマくいきますように。

皆さまのご健勝を祈り上げますとともに、今年も変はらぬご奉賛を宜しくお願ひ申し上げ、新年のごあいさつといたします。

紀元二六八二年
令和壬寅四年 元 日





新年のごあいさつ



講長 西尾武彦

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。さて、前年度は中止となった講社活動の一環である皇居勤労奉仕団については、二十一名の参加により令和四年三月に奉仕が叶うこととなりました。

令和三年十一月から毎月申請を行いました。宮内庁ではコロナ禍により受入人員を通常の三分の一に削減されており、抽選漏れが続きました。本年度も奉仕を諦めかけていた所でしたが、五回目の申請で許可をいただくことができました。

しかしながら、後日奉仕日数について例年の四日間より三日間に短縮して良いものかと、宮内庁より打診がありました。我々としては「ご奉仕が出来るのであれば、どの様な形でも構いません」とお答えしたところ、本年度の奉仕は三日間で行うこととなりましたので、お含み置きください。

兎にも角にも二年振りの奉仕決定、また何よりもようやく講長として初めて事業が行えることに、胸を撫で下ろすばかりであります。

いまだ悪しき流行りの疫病の収束が見えない中ではありますが、宮崎神宮におかれましては、祭典等が今年からは通常通り執り行われ、また祭典後の直会の席などで、講員の皆様と語り合えることを心から楽しみにしています。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き良い一年となる事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和四年度皇居勤労奉仕団のご案内

- ◆ 日程 令和四年十一月を予定（四泊五日）
※六月中に決定 抽選により変更あり
- ◆ 企画手配 (株)日本内外旅行
- ◆ 募集人数 三十名を予定（定員に達し次第締切）
- ◆ 参加資格 満七十五歳までの神武養正講社講員
- ◆ 経費概算 一人当たり 二五、〇〇〇円（三十名の場合）
※奉仕日一ヶ月前まではキャンセル料不要
※講員でない方は入講の手続きが必要です

お申し込みにあたって

- ① 令和4年5月15日（日）締切
- ② 宮崎神宮までお越しの上、お申し込み下さい。

お問い合わせ

宮崎神宮神武養正講社事務局
電話 0985 (27) 4004
担当 串間、出光

◆ 養正根付守 ◆

宮崎神宮では、皆様の平安な暮らしを願って奉製した根付守を、全講員へお頒ちさせていただくこととなりました。御守は、明治40年現ご社殿ご造営時の透塀撤下の古材ケヤキを用いたもので、神武天皇ご聖勅からいただいた「養正」の文字が刻まれてあります。

コロナ禍により、お参りが叶はぬ方も多いことかと存じますが、今後ともこれまで同様にお力添へいただきますようお願い申し上げます。



養正講の詳細は宮崎神宮ホームページに掲載しています。ぜひご入講ください。



10



9



8



7

7 和田萌花さん / 8 合田夢さん
9 根井梨果さん / 10 植村真菜さん
11 村田茉莉さん / 12 田中うららさん

御神幸祭 (神武さま)

宮崎の秋を彩る恒例の御神幸祭(神武さま)は、ご東遷のご聖業を偲び奉つて、毎年例祭(十月二十六日)後の最初の土曜日曜に斎行されます。

令和二年はコロナ禍により、御神幸行列は執り行はず「御幸之儀」を執り行ひ、神武さま広場内(高千穂通)に設けた御駐輦所に御鳳輦を奉安し、多くの参拝を得ました。

令和三年は十月三十日(土)・同三十一日(日)に斎行すべく準備を進めておりましたが、緊急事態宣言並びにまん延防止等重点措置発令の影響により、やむなく中止となりました。

御神幸祭活性化のために、宮崎県立佐土原高等学校産業デザイン科には宮崎商工会議所と連携され、本頁掲載のポスター制作、またアプリ開発、SNS等十一事業を進められました。

各事業の進捗状況を報告する授業を見学させていただきましたが、高校生ならではの発想に感心するとともに、かういった時代に即した新たなおまつりへの携はり方は、今後重要視されてくるのではないかと思ひました。

令和四年は三年ぶりの斎行となります。これまで同様、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



11



12

新春奉献酒

- | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|
| アサヒビール | 霧島酒造 | 黒木本店 | 落合酒造場 | 川越酒造場 | 明石酒造 | 大浦酒造 | 正春酒造 | 神楽酒造 | 高千穂酒造 | 本坊酒造 |
| 霧島シリカ水源 | 霧島酒造 | 渡邊酒造 | 岩倉酒造場 | 明石酒造場 | 大浦酒造 | 正春酒造 | 神楽酒造 | 高千穂酒造 | 高千穂酒造 | 高千穂酒造 |
| 小林市 | 霧島市 | 宮崎県 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 |
| | 霧島市 | 宮崎県 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 |
| | 霧島市 | 宮崎県 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 | 宮崎市 |

例年奉献品は、年末より成人の日までご社殿正面にお供への後、宮崎県社会福祉協議会に寄託し、県内の福祉施設にお頒ち致してをります。

これまでの功績により、令和3年10月26日には宮崎県社会福祉大会において感謝状を賜りました。長きに亘り心よくご奉献賜りました関係各位に衷心より厚く御礼申し上げます。



「神宮大麻」百五十年

「神宮大麻」は、もと「伊勢の御師」と呼ばれる神職が、全国の伊勢神宮を崇敬する人たちのために祈祷し、祈願をこめて配布していた「御祓大麻」に由来します。南北朝時代には頒布を全国域に広げ、積極的な活動を展開してゆきました。

伊勢信仰はしだいに広がり、江戸時代には全国的に普及。江戸の世では、なんと全国の約九割の家庭で「御祓大麻」が祀られていたといわれています。

明治の新たな世を迎え、そうした「伊勢の御師」の制度と「御祓大麻」の頒布も明治四年、廃止になります。しかし、全国には「御祓大麻」を通して「お伊勢さま」を信仰していた大勢の人がおり、伊勢神宮では各地からの願いをうけて、当時の官庁のひとつである神祇省に頒布を申し出ます。そして明治天皇の思召しにより、「御祓大麻」は「神宮大麻」として頒布される形になったのです。こうして「神宮大麻」は、伊勢神宮で奉製員により心をこめて奉製されるようになりました。いまでは、さまざまなるの手を介して皆さんのもとに届けられています。

令和四年は、明治天皇の思召しにより「神宮大麻」の頒布が始まった明治五年からちょうど百五十年。お神札を通して「お伊勢さま」を御自宅からお参りする暮らし……この節目の年を機に、実践してみたいかがでしようか。

引用 『むすひ令和四年版』 神社新報社

- ◆ お伊勢さまのお神札 一、〇〇〇円（小大麻）
 - ◆ 宮崎神宮のお神札 一、五〇〇円
- 氏神さまのお神札もあはせてお祀りください。

氏神さまはこちらから

宮巡(ぐうぐる) 検索

初詣はおそろひで神武さまへ

昨年より感染症対策の為、お正月を盛大に大人数が祝ふことが難しいかと思ひますが、以前のやうな賑やかなお正月を迎へられるやうに、当宮はもとより全国の神社では日々コロナ禍の収束と世の平安を祈り続けてをります。

昨今は徐々に通常を取り戻しつつあり、神社でも感染症対策を講じてをりますので、どうぞ皆様お揃ひでお参りいただきますれば幸甚に存じます。

なほ、ご参拝の際にはマスクの着用等、引き続き感染症対策をお願ひ申し上げます。

節目のお祓ひをしませう。

・厄 祓 古来人生の大きな変はり目を厄年と言ひます。

男 性		女 性	
前厄	二十四歳 平成十一年生	前厄	十八歳 平成十七年生
大厄	二十五歳 平成十年生	大厄	十九歳 平成十六年生
後厄	二十六歳 平成九年生	後厄	二十歳 平成十五年生
前厄	四十一歳 昭和五十七年生	前厄	三十二歳 平成三年生
大厄	四十二歳 昭和五十六年生	大厄	三十三歳 平成二年生
後厄	四十三歳 昭和五十五年生	後厄	三十四歳 昭和十四年生
前厄	六十歳 昭和三十八年生	前厄	三十六歳 昭和六十二年生
大厄	六十一歳 昭和三十七年生	大厄	三十七歳 昭和六十一年生
後厄	六十二歳 昭和三十六年生	後厄	三十八歳 昭和六十年生

・年祝ひ(長寿祝ひ) 命の営みを神様に奉告、感謝しませう。

還暦	六十一歳 昭和三十七年生	米寿	八十八歳 昭和十年生
古稀	七十歳 昭和二十八年生	卒寿	九十歳 昭和八年生
喜寿	七十七歳 昭和二十一年生	白寿	九十九歳 大正十三年生
傘寿	八十歳 昭和十八年生	百寿	百歳 大正十二年生
半寿	八十一歳 昭和十七年生	紀寿	百歳





- 六月 二日 献茶祭（県茶商連合会協力 献茶司 黒木信吾氏）
- 五日 御神田御田植祭（田長 秦安廣氏）
- 三十日 古神符焼納祭 夏越大祓 茅の輪くぐり神事
- 七月 十日 除蝗祈願祭
- 七月二十三日 東京五輪成功祈願祭 ※東京五輪開会式当日
- 七月二十五日 摂社夏祭本祭 子供神輿渡御中止
- 八月 四日 末社夏祭本祭 子供神輿渡御中止
- 八月二十五日 風鎮祭
- 九月 二十日 敬老祭
- 九月二十二日 秋季皇霊祭遙拝 秋分祭併風鎮満願祭
- 十月 五日 御東遷記念祭
- 十月 十日 御神田拔穂祭
- 十月 十一日 体育祭 ※東京五輪開催による祝日移動に伴ひ中止
- 十月 十七日 神嘗祭遙拝 神嘗奉祝祭
- 十月二十四日 第五十三回例祭奉納剣道大会中止
- 十月二十五日 前夜祭
- 十月二十六日 例祭

祭典 奉納行事

- 十月二十七日 摂末社例祭 陳謝祭 例祭奉納四半の大会中止
 - 十月 三十日 御神幸祭（神武さま）中止（三十一日まで）
 - 十一月 三日 明治祭 大的式奉納（九州菱友会宮崎市支部）
 - 十一月 十五日 七五三詣祭
 - 十一月二十三日 新嘗祭
 - ◆庭積神饌奉献者（順不同 敬称略）
 - ・宮崎神宮御神田米・宮崎県産米改良協会（県内七地区）
 - ・花ヶ島農産組合・下北方農産組合・宮崎商工会議所
 - ・宮崎県総合博物館・宮崎県茶商連合会・宮崎青果㈱
 - ・宮崎中央青果㈱・霧島酒造㈱・京屋酒造㈱・(有)薩摩蒸気屋
 - ・神武養正講社七支部四十四名・氏子青年会十支部六十八名
 - ・宮崎県神道青年会御神田米・一般崇敬者一名
 - 十一月二十四日 摂末社新嘗祭
 - 十二月二十五日 本殿清掃奉告祭 大正天皇祭遙拝
 - 十二月三十一日 古神符焼納祭 大祓 除夜祭 摂末社歳末祭
 - 毎月 三日 月次祭（十一月を除く）
 - 毎月 十五日 講社月次祭
- ※各祭典に併せてコロナウイルス鎮静祈願詞奏上
 ※事由の記載なき各種中止行事はコロナ禍によるもの

令

和二年に引き続き、令和三年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模縮小や中止を余儀なくされた祭や行事がありました。

摂社皇宮神社、末社五所稻荷神社夏祭もそのひとつです。本祭は斎行しましたが、地元小学校五、六年生が担ぎ手の主体となる恒例の子供神輿の渡御は中止となりました。

渡御中止は昨年に引き続きのことです。つまり現在の六年生が神様や地域の方々とのつながりを感じる一つの経験ができなかったことは、非常に心残りです。

“わっしょい”の語源は「和して背負ふ」ともいわれます。本年こそは当宮はもとより各氏神さまにおいて、夏の風物詩である神様と人、人と人が和して神輿を担ぐ賑々しい光景が見られることを願ふばかりであります。

写真：庭積神饌（令和3年 11月 23日／新嘗祭）

◆ 正式参拝・団体祈願等 ◆

六月 二十日 (株)合格不動産安全祈願

優建工業安全祈願

七月 二十一日 九州電力(株)宮崎営業所安全祈願

九州電力(株)宮崎支店安全祈願

九州電力送配電(株)宮崎配電事業所安全祈願

宮崎空港ビル(株)『神話の玉手箱』シリーズ新商品

販売奉告並商売繁盛祈願

明正電設(株)安全祈願

日本通運(株)宮崎支店安全祈願

第一建設(株)安全祈願

三三 マークエスエル氏正式参拝 ※絵画奉納

サムコテクシヴ(株)宮崎工場安全祈願

松田晃明氏正式参拝 ※絵画奉納

宮崎県神社庁「神宮会館」正式参拝

八月 二十一日 (株)はまゆう安全祈願

二日 國學院大學准教授渡邊卓氏正式参拝

二日 (株)ひなた保証設立奉告祭

四日 宮崎県神社庁正式参拝 ※初任神職研修

七日 宮崎夏期大学(日本YPO)正式参拝

二十四日 熊野那智大社禰宜伊藤士騎氏正式参拝

二十六日 福井石油(株)社運隆昌祈願

九月 五日 山谷えり子氏正式参拝

十四日 ヤマト運輸(株)安全祈願

宮崎県神社庁正式参拝 ※神社庁總會

二十七日 (株)宮崎太陽銀行社運隆昌祈願

二日 鵬翔高等学校サッカー部必勝祈願

十日 小池愛子氏正式参拝

十九日 武井俊輔氏衆議院議員選挙必勝祈願

二十日 (株)九州ケアサービス安全祈願

十一月 一日 (株)宮崎太陽銀行安全祈願

(株)いろは建築工房社運隆昌祈願

五日 山内かなこ氏宮崎県議会議員補欠選挙必勝祈願

十一月 七日 宝会団体健康祈願

十二日 (株)あなぶき建設工業宮崎支店安全祈願

十二日 コイト電工(株)九州支店安全祈願

十二日 日本神社ヨガ協会正式参拝 ※ヨガ奉納

十八日 (一社)宮崎県内水面振興センター安全祈願

二十一日 宮崎市神話観光ガイドボランティア協議会正式参拝

二十二日 菊池商店奉告祭

◆ 境内清掃奉仕 ◆

十月 十二日 (株)明光社

十五日 (公社)宮崎市シルバー人材センター

二十日 九州電力(株)

毎月 一日 (株)西尾組

一日 ライオンズクラブ

十日 宮崎交通(株)中央営業所

昭

和三十九年以来二度目となる東京オリンピックが、令和三年七月二十三日より開催されました。

開催に先立つ令和三年七月十二日、当県にて事前合宿中であつたサッカーアメリカ女子代表の必勝祈願を執り行ひました。当初はご来宮の予定でしたが、コロナ禍により宿泊先ホテルでの齋行となりました。

合宿中はホテル以外の外出も制限されるなど、日本や宮崎の文化に触れる機会も少なかった中で、祭典や悠久の舞を通してその一端でも感じとつていただけたのであれば幸ひに存じます。

ちなみに結果は銅メダル!目標の金メダルとはなりませんでしたが、心から拍手を送りたいと思ひます。

今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。シーユーアゲイン...



必勝祈願絵馬は当宮参拝者休憩所に掲げてあります。

” 献詠短歌 ”

「宮崎神宮献詠短歌会」は、昭和十六年三月に発足しました。爾来八十年の長きに亘り、三十一文字に思ひを込めて献歌してきました。

■ 献詠募集 選者 堀家博子

ハガキに楷書で丁寧にご一首と氏名、住所、電話番号を明記の上、宮崎神宮社務所までお送りください。

※毎月五日締切

※選考結果は毎月末に応募者宛にお送り致します。

■ 令和四年兼題

本年の献詠兼題を左記の通り定めましたので、お知らせ致します。毎月作歌して、日々の生活の中のささやかな出来事や人生の機微をお詠みください。

- 一月 朝
- 二月 寒
- 三月 芽
- 四月 声
- 五月 空
- 六月 音
- 七月 船
- 八月 星
- 九月 彼岸花
- 十月 秋桜
- 十一月 公孫樹
- 十二月 灯

■ 令和三年六月 兼題「紫陽花」

天
ワクチンの接種を終えて紫陽花の色増す庭に父は佇む

倉敷市 萩原 節子

地

梅雨晴れを鎌倉長谷寺巡りゆく
咲きし紫陽花夫と愛でつつ

宮崎市 濱田眞理子

人

店先にところせましと紫陽花の新種ならべり妍を競ひて

船橋市 森中 香織

秀逸

朝々の一日を祈る庭先に
雨に咲き盛る紫陽花の花

小林市 永友 チエ

亡き夫のさし木で育てしあじさいは
つゆ空みあげ今さかりなり

南九州市 赤坂よし子

佳作

雨つづく庭に切りたる紫陽花の間
より落つ小さきかたつむり

宮崎市 徳永さち子

雨の音お湯の沸く音茶点での音
紫陽花聞くや静けさのうち

宮崎市 永吉 寛行

ひそやかに白き紫陽花咲ききたり
日暮るる庭に君を偲べり

宮崎市 黒木和貴子

選者詠

挿し木して幾年にならむ前庭に
青くこんもりと紫陽花の咲く

■ 令和三年七月 兼題「藍」

天
藍染めのコースター使ひ思ひ出づ
息子と行きし春の徳島

宮崎市 濱田眞理子

地

藍色の制服の子ら一斉に
手を挙げ青信号に変わるのを待つ

熊本市 松山 浩一

人

藍色のはつぴ姿の子どもらが
神輿かつぎて夏を駆けゆく

日南市 黒岩 昭彦

秀逸

藍染めの糸にわが織りしタピストリー
梅雨あけまちて土間に掛けをり

宮崎市 徳永さち子

末の子の卒業記念の旅先に
藍のハンカチ染めし日遙か

宮崎市 鐘ヶ江和貴

佳作

車窓より遠くに見える山なみは
藍く沈んで夕暮れてゆく

西都市 牧 忍

湯上がりの藍のゆかたの心地よく
蜩の郷里に母と想いぬ

宮崎市 桑原 淑子

ジャパンブルー市松模様の藍深く
東京五輪の開会迫る

宮崎市 黒木 和子

選者詠

生徒らと藍の絞り染め見せ合ひて
実習に夢中若かりしかな

■ 令和三年八月 兼題「渚」

天
夕焼けに染まる渚に大波を
求めしサーファー海へ漕ぎだす

日南市 黒岩 昭彦

地

「コロナには負けぬ」と大きく息を吸ふ
朝の青島の渚に立ちて

宮崎市 友枝 清子

人

夕映えの渚に寄する波の音
しばし介護の悩みを忘る

宮崎市 黒木和貴子

秀逸

足裏にあたたかき砂つかみつつ
一步一步と渚あゆめり

船橋市 森中 香織

祖父に倣ひ浜の渚に若潮を
汲みにし幼日眼裏にあり

宮崎市 鐘ヶ江和貴

佳作

たはむれて汀を走る曾孫ふたり
高きより見つつ満ち足りてをり

宮崎市 徳永さち子

少年の足跡残る渚には
誰か忘れしビーチサンダル

宮崎市 桑原 淑子

孫子らと波の寄せくる渚辺を
走れる夫のパワー溢れぬき

宮崎市 小松 京子

選者詠

青島のさざ波に素足濡らしつつ
友と渚に桜貝拾ひし

令和三年九月 兼題「絵」

天

わが部屋のベネチアの絵に思ひ出つ
ゴンドラに巡りし水の都を

宮崎市 濱田眞理子

地

亡き父の笑顔のうつし絵御守りに
持ち歩きはや十余年経つ

宮崎市 黒木 和子

人

高千穂の嶺をのぞみて描かれし
夕陽に輝く雄々しき山容

宮崎市 須田 明典

秀逸

厳かな御列描きし遷宮の
記念の絵馬に往時を偲ぶ

宮崎市 黒木 雅裕

カレンダールの落穂拾いの絵控てがたく
額に納めて部屋に掲げぬ

延岡市 喜多 昭子

佳作

うつし絵の母若かりし父の横に
寄り添ひ立つは嫁入りの日か

宮崎市 右松多恵子

パソコンに疲れし眼に見上げをり
今は亡き君描きし美人画

宮崎市 徳永さち子

夜も更けて庭にさし込む月あかり
木々の影絵に魅せられてをり

南九州市 赤坂よし子

選者詠

縁側に絵画集練りて時の過ぎ
急ぎ厨に米を研ぎたり

令和三年十月 兼題「秋桜」

天

秋桜の百万本の花の中
童ひそむや「もっいいいよ」の声

宮崎市 黒木和貴子

地

コスモスの香の中の道走りゆく
我が子の姿見え隠れする

宮崎市 河野 公俊

人

若くして病に逝きし汝なりし
コスモスの中に遺影微笑む

宮崎市 小池 洋子

秀逸

熱々の即席みそ汁よろこびし
父をし想ふコスモスの丘に

宮崎市 鐘ヶ江和貴

満開のコスモスを背に立ちし夫
健かなりし日遠くなりたり

宮崎市 徳永さち子

佳作

秋桜に催がされ今君を待つ
募る想いは去年を越えにし

西都市 加藤 健二

「登ったよ」孫は赤い帽子を吾に振る
秋桜揺るる生駒高原に

宮崎市 友枝 清子

キャンパスに秋桜畑を描きたる
友の油彩の額かざる秋

宮崎市 黒木 和子

選者詠

入院の母に持ちゆきしコスモスを
今年も思ふ花に触れつつ

令和三年十一月 兼題「石路」

天

車椅子の母に寄り添ひ眺めにき
石路咲けど彼の日帰らず

宮崎市 黒木和貴子

地

母の忌に鎮き合へり石路は
母の炒め煮忘れがたきと

宮崎市 鐘ヶ江和貴

人

月あかりさらに足もと照らすかに
八丁坂につはぶきの咲く

宮崎市 本部 雅裕

秀逸

ふる里の山を馳せつつ石路を
採りたる日々よ少女なりし時

西都市 渡邊 経子

木漏れ目を浴びて輝く石路の
花すりぬけて野良猫のゆく

日南市 黒岩 昭彦

佳作

石路が食べたいと待ちぬし夫思ふ
灰汁にそまりて皮をむきつつ

宮崎市 小松 京子

石路の花咲きて明るき野の道で
静寂破る鴉の声聞く

倉敷市 萩原 節子

水桶に石路むきし母思う
節くれの手は灰汁に染りて

宮崎市 和田 洋子

選者詠

生垣に生ふる石路佃煮に
秋ともなれば黄の花を待つ

観光功労者表彰

（株）西尾組（宮崎市神宮東）にお
かれましては、令和三年度宮崎
市観光協会総会にて表彰の栄に
浴されました。

創業以来、当宮の諸事や、さら
に毎月社員一同で清掃を行はれ
るなど境内美化にもご尽力いた
だいてをります。

また、業務の中では県内外にお
いて文化財や建造物の景観保存
その他観光事業にも大きく貢献
されてをり、当宮よりご推薦申
し上げました。

心からお慶び申し上げますと
もに、今後益々のご隆昌をご祈
念申し上げます。

職員動向

令和三年七月から
令和三年十二月まで

【本庁辞令】

宮崎神宮権禰宜 馬乗園貴稔
神職身分二級とする
（令和三年九月十日）

宮崎神宮権禰宜に任ずる
岩切 伊吹
（令和三年十一月一日）

【階位授与】

無試験検定二依り明階ヲ授ク
宮崎県 岩切 伊吹
（令和三年十月二十日）

日向は蹶起した 祖國振興隊

- 一、我等ハ皇祖發祥ノ聖地ニ生レ天業翼賛ノ皇民ノ裔タルニ感激ス
- 一、我等ハ盡忠報國ノ精神ニ充テ義勇奉公ノ赤誠ニ燃ユ
- 一、我等ハ勤勞ヲ倍加シ誓ツテ祖國振興ノ柱石タルン



八紘之基柱起工式／昭和 14 年 5 月 20 日
隊員延べ 65,000 名にも及ぶ奉仕団の献身的な奉仕作業があった。

昭和十二年十二月二十二日、宮崎神宮の大前において、相川勝六知事統監のもとに、右の信條を掲げて、最初の祖國振興隊結成奉告祭が執り行はれました。

時恰も支那事變が勃発、銃後の守りとして、県内各地において天恵豊かな祖國日向の資源の開発、保護、生産に汗みどろの活動をなされたのであります。

殊に当宮においては、紀元二千六百年（昭和十五年）奉祝事業として境内地の拡張工事や徴古館の改築など、現境内様相の礎を築かれ、また八紘之基柱（現在は平和の塔）の建立にも尽力されました。

宮崎県の祖國振興隊は、全国からの視察も多く、国民精神総動員運動の全国的典型となりました。

◆振興隊ぶし

皆さん皆さん日向の空にヒラヒラするのは何ぢやいなトコトンヤレトンヤレナあれは祖國を振興せんとの誓ひの御旗としないか

天孫降臨神武の天業は此の地におこるを

勤勞の喜び

去る十月、御料屋の整理をしたところ、祖國振興隊隊旗の存在が明らかとなりました。

隊旗は、長幟の上に日向三代を示す黒線三本、その下に日の丸を配してをり、すべて宮崎神宮から各隊に授与されたさうです。

振興隊の理念は、神恩奉謝の念を各自の生活や勤めの中に具現化するやう精神力の陶冶に重点を置き、勤勞に無上の喜びを見出すことにあります。

コロナ禍よりやうやく日常を取り戻しつつある中であって、改めて先人の姿に思ひを致し、皆様日々の勤勞を感謝し、その上に平安な生活を営まれますことを願ってやみません。



養正編集

Vol.158